

人権だより

No.321 (2025.2)

2月になって思うこと

学校魅力推進課 徳永 彩子

2月3日(月)は立春でした。暦の上ではもう春です。

さて、2月9日(日)は、ランナーたちが早春の伊代路を駆け抜ける、第62回愛媛マラソンが開催されます。ここ10数年、愛媛マラソンの日は、毎年ランナーとして走る夫の応援に行くのが我が家の恒例行事になっています。不思議なもので、応援するはずの私が、一生懸命走るランナーの皆さんの姿から毎年たくさんのパワーをもらって帰ってきています。応援専門だと思っていた私も、数年前、息子のマラソン大会の練習



に付き添うようになってから、少しずつ走るようになりました。最近、オンラインマラソンなるものもあり、現地に行かなくとも、スマートフォンのアプリを通じてマラソンに参加することもできます。四万十川ウルトラマラソンオンラインチャレンジ、サロマ湖100kmウルトラマラソンオンラインチャレンジ…無事、目標走行距離を達成し、完走記念メダルとTシャツが送られてきて嬉しくなった私は、今度は実際のレースにも挑戦してみたくなりました。新居浜あかがねマラソン、佐田岬マラソン、四国せいよ朝霧湖マラソン、吉田町マラソン大会と、県内で開催されるレースのリピーターになり参加する中で、沿道で応援してくださる方々の声援のありがたみに加えて、気づいたことがありました。それは、同じランナーの中には、ランナーを応援しながら走っている方が一定数いらっしゃるということです。自分も苦しいはずなのに、折り返してすれ違う時に、大きな声で「頑張れ~!」「ナイスラン!」と言ってくれる方々。その声に大きな勇気をもたらします。すれ違う時に励ましてくださるのは、名前も知らない初対面の方ばかりですが、それでも笑顔で声をかけてもらえると、心が通い合った感じがして、なんとも言えない幸福感に包まれます。すれ違うほんの一瞬のことではありますが、心が通い合うというのは、こんなにも心が温まることなのだと感じました。人との出会いを大切に、快く心を通わせることは、人生の醍醐味とも言えるかもしれません。「袖振り合うも多生の縁」という言葉があります。見知らぬ人とちょっと袖が触れ合うようなちょっとした出会いも、前世からの因縁によるものであるという意味です。皆さんの周囲を見渡してみてください。自分の周りにいてくれる人たちは、縁あって出会った人たちばかりなのです。その縁を、優しさと思いやりの気持ちをもって、日々大切にしていきたいと思えます。

世の中の価値観がめまぐるしく変わり、これからは心の豊かさが今まで以上に求められる時代になってくるのではないのでしょうか。笑顔、感謝の気持ち、周囲への思いやりの気持ちを大切に。そんなふう

きていきたいと思う今日この頃です。

ちなみに、レース中に自分以外のランナーを応援するためには、その分体力も必要な上に、自分1人が走ることはばかりに気をとられていたのでは、到底できることではありません。しっかりトレーニングを積んで、心と体を鍛えていきたいと思います。

今年もあつという間に12分の1が終わりました。ですがまだ12分の11残っています。今年の大晦日に、良い1年だったと思えるよう、皆さん、一緒に顔晴り(がんばり)しましょう!

【保護者の声】 文章を読んだPTA 人権委員の方の感想です。

読んだあと、自分もツーリングですれ違う際にサインを出し合い、旅を楽しんでいたことを思い出し、これも心の通い合いの一つだと気付きました。マラソンの声掛けやバイクのサインはあいさつと同じものだと思います。わが子たちも小さな頃からあいさつの大切さを教えられてきています。あいさつで相手と心を通わす、理解する、それが人権尊重の基本なのだなど再認識することができました。(3年生保護者)

【人権委員の声】

「頑張れ」「ナイスラン」というちょっとした言葉でもパワーをもらうことができるので、あまり喋ったことのない人でも声を掛けていこうと思いました。人というのは、ひと言で心が動かされるということをこの文章を読んで感じました。これからは「あいさつ」を大切にしながら学校生活に活かしていきたいと思えます。(2年生人権委員)

僕も自分が頑張るだけでなく、周りの人を気づかえる余裕や優しさを持って生活していきたいなと思いました。また、周囲への思いやりの気持ちを大切に生きていきたいです。今は価値が昔に比べ、とても変わってきているのでそんな激動の時代を生きるには心の豊かさを持つことが必要だと改めて感じました。今年一年良い年だったと思えるよう頑張りたいです。また、周囲への感謝を忘れない一年にしたいと思いました。(3年生人権委員)

自分が一声、人にかけるだけで、ひとりの人が少し幸せになるということはマラソン以外にもたくさんあると思います。学校の往路や帰路であいさつを頑張ろうと思います。(3年生人権委員)

ランナーを応援しながら走っている人がいると知って驚きました。名前を知らなくても、知り合いではなくても応援してくれる人がいるってすごく温かいなと思いました。そして、自分がもらった温かい言葉を他の誰かに掛けることでたくさんの人の心を温かくすることができると思います。自分の周りにいてくれる縁があった人たちを大切に思いやっていたいです。(5年生人権委員)

私も部活で先輩や後輩から応援してもらったことで体がよく動いていい試合ができたことを思い出しました。その時の経験から後輩には自然と応援やアドバイスをするようになっていたと思います。何気なくかけられた一言に励まされたり、勇気づけられたりすると思うので、そういう声掛けを積極的にしていきたいと思いました。(6年生人権委員)

卒業まで残りわずかになりました。入学してから6年間、たくさんの人と出会ってきましたが、どれも縁があってこそその出会いだと改めて感じました。仲間と過ごす残りの時間をやさしさと思いやりの気持ちをもって大切にしたいです。そして、これからの出会いも大切にしていきたいです。(6年生人権委員)